

## 2017年度スタート！

みなさまのおかげをもちまして、「3度目の春」を見返ることができました！

さらに！なんと今年度4名の新採用職員も仲間入り！それぞれの事業で早くも「若いチカラ」を発揮してくれています。そこで今号は「新採用職員特集！」。新たに加わった仲間がご挨拶を申し上げます。

—そのまえに、まずは近況より…。

### 【みらい】 自立援助ホーム

・開設当初より入居していた高校生 T 君。ついに高校3年生を無事に迎えることができました。進路選択の年。「福祉の仕事がしたい…」

「あれにもこれにも興味がある…」

早くも具体的に自分の将来を考えはじめています。可能性は未知数！どんどん挑戦していきましょう！

・建築関係の仕事に励む Y 君。イケメンのナイスガイ。実は日本郵政の施設改修助成をいただけることになりました。（日本郵政さまありがとうございます！—おかげさまで去年の地震からの雨漏りや周辺外構を整備できることになりました） Y 君の勤務する会社も改修工事に協力してくれています。なので、最近の Y 君の現場はホーム。たくましく頑張る姿に感動！

・調理師をめざし、見習い修行中の S 君。なんと「いっこ上」（社長の言葉より）の仕事ができるようになりました。接客、洗い物から調理補助業務もできることに。自分の努力が少しずつカタチになることを経験中。社長や先輩方に感謝しながら「いっこ上」の仕事に頑張っています。

・そして、ホーム長の S 君。介護の現場でたくさんの悩みを抱えながらも、踏ん張っています。悩みは多

くとも、あきらめず、くさらず、自分との格闘を続けています。「自分自身と向き合う。周りはそのあと」をテーマに日々奮闘中です。

—日本郵政からの施設整備助成ありがとうございました。昨春の地震以降、雨漏りその他、心配されたことがありました。おかげさまで、こどもたちに安心安全な生活環境を提供できます。法人一同感謝申し上げます。

### 【なないろ】 放課後等デイサービス

今年度より教室が2つになりました！昨年度までの経験より、「こどもたちの年齢（発達段階）にあわせた療育支援の必要性」を感じ、「なないろ1号館」「なないろ2号館」という名称でスタート！各教室の支援方針や近況をご紹介します。

#### 【なないろ1号館】

支援方針 「挑戦！」

発達特性に応じた支援プログラムを大切にしながら、学習や集団活動において無理のない「負荷」を組み込み、耐性や自己抑制、達成感の獲得をめざす。

○二本柱 「学習支援」

「ソーシャルスキル（SST）」

～かかわりあうチカラ🔥の向上～

- ・学習習慣や学習意欲の定着
- ・学力の伸長
- ・学校で認められるチカラをつけよう！  
～「きまりごと」を守るチカラを身につけよう！
- ・集団宿泊訓練
- ・定期遠足
- ・体力向上委員会
- ・体験活動
- ・創作、芸術活動
- ・保護者との懇談会や勉強会

## 【なないろ2号館】

支援方針 「親和」

周囲の仲間や職員との関わり合い（コミュニケーション）を大切にし、助けあうことや思いあうことを重視する。活動全般において「基礎基本」の習得をめざす。

○二本柱 「学習支援（基礎基本）」  
「ソーシャルスキル（SST）」  
～思いあえるココロ♡づくり～

- ・学習習慣や学習意欲の定着
- ・学力の伸長
- ・学校でたくさんほめてもらおう！
- ・じぶんあそび
- ・集団遊び
- ・季節の活動
- ・体験活動
- ・創作、芸術活動
- ・保護者との懇談会や勉強会



毎日子どもたちのにぎやかな声が響いています。今年度はどんなドラマが生まれるのか。乞うご期待！

## 【きつきプロジェクト】

### （児童等自立支援就農チャレンジ事業）

杵築市との連携事業（通称「きつきプロジェクト」）も2年目を迎えました。なんと！昨年度より大きくバージョンアップ！（杵築市のみなさま感謝申し上げます）

- ・対象児童の拡大（今年は高等学校も参加！）
- ・受入れ事業者の拡大（現時点で13事業者）
- ・体験活動期間およびインターンシップ期間の拡大（通年土日や学校長期休暇中…つまり1年中）

施設等で暮らす子どもたちの施設退所後をより豊かにするために、また、いろいろな事情を抱える一般の高校生にも「農業体験」を実施し、将来の職業選択の選択肢を広げる…杵築市には農業プロフェッショナル（ジョブコーチ）が多くいらっしゃいます。しかも若者が欲しい！と言ってくれる素敵な方々。

可能性は未知数の事業。今年度もスタートします！杵築市のみなさま。よろしく願いいたします。

## 新採用職員のご紹介

渋谷 はるな(社会福祉士) なないろ 児童指導員

### ＜子ども支援に関わるきっかけ＞

大分大学4年在学中になないろでのボランティアで、始めて発達障がいを持っている子どもたちとふれあいました。先生方や仲間との関わり合いの中で暴力ではなく少しづつ言葉で表現できるようになっていく姿を見て、子どもの持っている力、それを引き出す先生方の力に「すごいなあ」と思うばかりでした。子どもと接するのはとても楽しく、職員さんや先生方には子どもの接し方についてたくさん話をいただき、多くの学びがありました。もっとここで子どもたちとの関わり合いから学びたいと思いながらも大学卒業をむかえ、福祉事業所へ進みました。ご縁があって当法人の矢野所長に背中を押され、子どもたちの支援に関わらせていただくことになりました。

### ＜子どもの支援に関わってみて＞

「何もできなくてもいい。」「これからできるようになればいい。」という矢野所長の言葉に励まされ「いったい私は、何ができるのか？」という不安が吹き飛びました。まず、何からでもやってみよう。と思いました。子どもたちは、半年前までボランティアで関わっていた私と一緒に遊んだことなどを覚えていてくれ、とても嬉しかったです。子どもたちと一緒に過ごすことは楽しいですが、どのように接すればいいのか。悩むことはあります。そんな時は、職員さんや先生方に相談してアドバイスをいただいています。なないろの子どもたちと学習したり遊んだり、みらいの子どもたちと食事したり、いつも笑いが絶えず素敵な職場だと思っています。

### ＜これからの目標＞

始めて出会う子どももいたため、そのこが好きな遊びや興味のあることを一緒にして自分を覚えてもらうことや「遊ぼう」と声をかけてもらえるような接し方をしてきました。そんなとき、矢野所長から「子どもに好かれる努力をするのではなく、その子どもを好きになる努力をする」と言われました。その言葉を聞いたとき、肩の力が少し抜けたような気がしました。いままで子どもから好きになってもらえるように「好かれる自分」をつくってきたけれど、自分が子どもを好きになるのならもう少し気持ちを楽にして接することができるかなと思いました。

これからは、笑顔で子どもたちと接して、子どもたちの良いところをたくさん見つけていきたいです。

## 山本 成美(認定心理士) なないろ 児童指導員

### こども支援に関わるきっかけは

大分大学4年生のときアルバイトで働かせていただいた時、なないろのこどもたちと出会い、沢山のことを学び、面白さを感じました。ちょっぴり不器用だけど、素直なこどもたちいつも元気をもらっていました。そして、なないろの先生方のこどもたちとの関わり方に憧れをもっていました。先生方は、私たちアルバイト職員をいつもあたたかく迎えてくださり、学生であった私たちにも学生会議・学生向け研修会などたくさんの機会をいただき、児童福祉への興味が強くなりました。

大学卒業後、児童福祉施設に就職しました。ご縁あって、当法人でこどもたちに関わらせていただくことになりました。

### こどもの支援に関わってみて

何ができるというわけではないけれど、こどもたちが安心していろいろなことに挑戦して、幸せになれるように一緒に成長していきたいと思いをもちスタートしました。

こどもたちとの関わりで難しさを感じることがあります。そんなとき、先輩の職員さんや先生方が毎日のように不安や悩み些細なことを聞いてくださり、チームとして支えてくださるので、毎日安心してこどもたちと関わることができます。こどもたちの言動に「なぜ?こんなことするの?」とオロオロすることもありますがこどもたちへの理解が深まると、いままで、疑問に思っていたこどもたちの言動も受け入れられるようになってきました。自分の主観や常識ではなく、こどもたちにとってははどうだろう?と考えてから声掛けができるようになってきました。こどもたちの素直さや優しさに助けられることも多く、成長していく姿が愛おしいです。素敵な職員さんや先生方、そして、こどもたちのおかげで毎日笑顔で過ごすことができます。学生の時とは違った視点で、こどもたちと関わることができ、毎日が新しい発見です。例えば、なないろの行き返りの車の中では、普段遊んでいるときとは、違うこどもたちの表情が見れるような気がします。これからは、1対1で、ゆったりと話すことができる時間も大切にしていきたいです。

### これからの目標

こどもたちとの関わりの中で、「まだまだだな。」「失敗したな。」と反省することが多いです。でも、「自信をもって失敗してみよう。」と声をかけていただき、自分らしさを大切に、焦らずに、諦めずに、じっくりとこどもたちと向き合っていきたいです。こどもたちから教わりながら、職員さんや先生方から吸収しながら、毎日挑戦していきたいです。大学でも専攻していた心理学もこどもたちの支援にいかせるようにさらに勉強を深めていきたいです。

## 石川 咲絵(児童福祉司・教員資格) 事務局

### こども支援に関わるきっかけは

私が児童福祉の世界で働きたいと思ったきっかけは、6年間の警察人生で出会ってきた子どもたちの姿でした。誰からも見つけられことなく、壮絶な環境で必死に生き延びてきた子や、様々な困難を抱える中で非常に重い罪を犯してしまい、罪悪感で心がボロボロになってしまった子など…。どの子も恵まれない家庭環境や困難の中を生きのびた結果、警察に辿り着いていました。しかし、警察官の自分が子どもたちとの関係を築いても、事件や現場が終結すると手元から離れることや、組織の意向に納得できず歯がゆい思いもしました。私は、子どもたちを本当の意味で守ること、救うことができているのか、自分が本当にしたいことは、これから先の子どもの人生に関わることではないかと考えるようになったのです。そして、一度しかない人生を後悔しないようにと、警察官を辞め、国立武蔵野学院児童自立支援専門員養成所で1年間、多くのことを知識だけでなく肌身で学んできました。その中で、本当にたくさんの方々の縁に導かれるように、矢野所長と出会い、「おおいた子ども支援ネット」のことを知り、私のやりたいことはコレだ!と直感しました。どこで働こうか悩んでいた私にとって、あの時のワクワク感は忘れられませんし、今後も感じ続けるのだと思います。この出会いに感謝して、様々なことに挑戦しながら、子どもたちと共に未来を切り拓いていきたいと思います。

### こどもの支援に関わってみて

ついに、「おおいた子ども支援ネット」での勤務が始まり、一週間が経ちました。一番に感じることは、本当にここに来てよかったということです。法人のことを知れば知るほど、ワクワクする気持ちが膨らみ、可能性で満ち満ちていると感じます。また、職員の方は明るく優しい方ばかりで、それぞれに高い志を持っており、支えあいながら全員で頑張ろうという雰囲気。気が持ちよく、とても良い職場環境だと思います。まだ、法人や事業について学びはじめ、子どもと少しずつ関わっている段階ですが、毎日充実して過ごしています。そして何より、子どもたち皆とっても可愛いです。

### これからの目標

まずは、早く仕事に慣れて自分の経験を活かしながら、失敗を恐れず色々な事に挑戦することです。今後は杵築プロジェクトや市役所での勤務等もあり、様々なことにトライしていこうと思います。“子どもの最善の利益”のために、できることは何かを常に考え行動することができる力をつけ、「WITHの精神」で子どもと関わり、自分自身も子どもと共に豊かになる



ことは自分にとって大きな目標です。また、女性である強みを生かし家庭的雰囲気を出し創出することや、安心して正しい依存ができる関係を構築できる支援者になること等、自分の課題は多いですが、ひとつひとつスキルアップしていきたいです。

## 栗生木 麻由（社会福祉士） 事務局

### こども支援に関わるきっかけは

私は大学3年生の時から放課後等デイサービスなないろのボランティア生として関わらせていただいています。大学での児童福祉に関する講義の中で「発達障害」というあまり聞き慣れなかった言葉に興味を持ったことがきっかけで始めました。その中で、子どもたちそれぞれが持つ特性や関わり方を学ぶことができました。しかし、ボランティア生の時には見るだけでできなかった子どもたちの家庭での姿、小学校での姿を実際に見て、その子を取り囲む様々な環境を視野に入れながら子どもたちの支援に関わりたいと思い、当法人で働くことを希望しました。また、ボランティアの時には不定期でしか関わることができませんでしたが、一職員としてより多くの時間を子どもたちと過ごし、生活の流れや日々の出来事を理解した上で子どもたちの成長やできるようになったことを1つでも多く見つけたいと思いました。

### こどもの支援に関わってみて

毎日、子どもたちの面白い発想や発言にとっても楽しませてもらっていますし、先輩職員の方々の動きや声かけ、SSTなどたくさん勉強をさせてもらっています。しかし、子どもの言動に一喜一憂したり、今はまだ何もできず、子どもたちがしっかりと理解できる声かけができたのかな、ああすれば良かったこうすれば良かったと反省する日々です。「今日も何もできなかったな」と反省しながら一日が終わっていきいますが、子どもたちとの交流や他の職員の方々の温かいお言葉に支えられながら毎日楽しく働くことができています。まだ働き始めてから日は浅いですが、おおいた子ども支援ネットでは子どもたちの支援にたくさんの方が関わっていることを実感しています。その中で、微力ながらも子どもたちの支援に携わられていることをとても嬉しく思っています。

### これからの目標

子どもたちと遊ぶときはもちろん全力で楽しみますが、人を傷つける行為やルールに反した行為など、子どもの言動に対して注意すべきところはしっかりと注意することができるメリハリのある支援をすることが目標です。どのような言葉、表情で子どもたちと向き合うかを考えながら日々関わっていきたく

思います。そして、学習支援・遊びの中でも自分の近くにいる子どもだけではなく、その子と関わりながらも、どこで誰が何をしているのかといった他の子どもたちの動きを把握できるように広い視野を持ちながら支援することを意識したいと思います。また、職員全員で子どもたちを支援しているという意識を大切にしたいと思います。働く中で自分の得意なこと・苦手なことを見つけ、時には助けたり助けられたりしながら自分のスタイルに合った支援方法を探していきたいです。

## 編集後記～事務局より

2017年度がスタートしました！

今年度も無事にスタートを切ることができましたのも皆様のおかげさま、こどもたちのおかげさまです。

自立援助ホーム・こどもシェルター「みらい」  
放課後等デイサービス「なないろ」  
杵築市との「児童等自立支援就農チャレンジ事業」

どの事業も利用するこどもたちやご家族のためによりよいカタチになるように、よりよい事業に育つように法人一同これからも努力してまいります。

さらに、今号は「新採用職員のご紹介」を中心にお届けさせていただきました。どの職員も「これから」ですが、しっかりとした「志」や「想い」を抱き、「こどもたちのためにチカラになりたい！」という気持ちでいっぱいです。豊かな実践力を身につけながら、仕事を通して豊かな人間性を育ててくれることを願っています。今後ともよろしく願いいたします。

「すべてのこどもたちに明るい未来を！」

ご意見・ご質問等あれば下記事務局まで電話またはメールにてお尋ねください。

おおいた子ども支援ネット事務局

☎ (097) 507-5417

Mail : [oita-kodomasien777@oct-net.ne.jp](mailto:oita-kodomasien777@oct-net.ne.jp)

HP・facebook でも情報発信しています